

10 参考資料

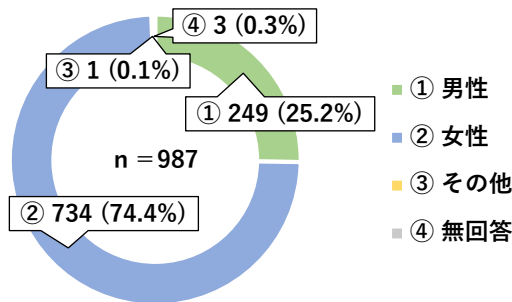
1 実態調査における調査対象区分ごとの回答内容

→ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/77409.html>

A-① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問1(1) ケアラーの性別

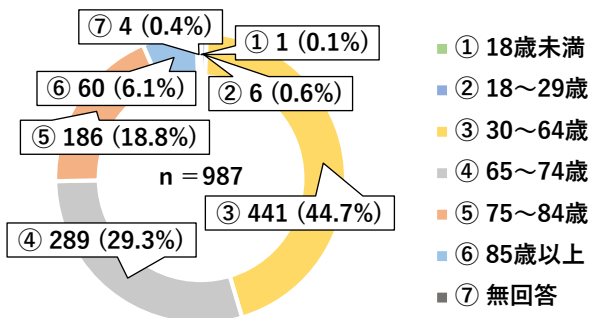
* ケアラーの性別は、「② 女性」が74.4%となっており、「① 男性」の25.2%を大きく上回っています。



※ これらの回答内容は調査結果の概要や傾向を表すために要約等したものであり、道のホームページで公表している調査結果（上記URL参照）とは異なる部分があります。

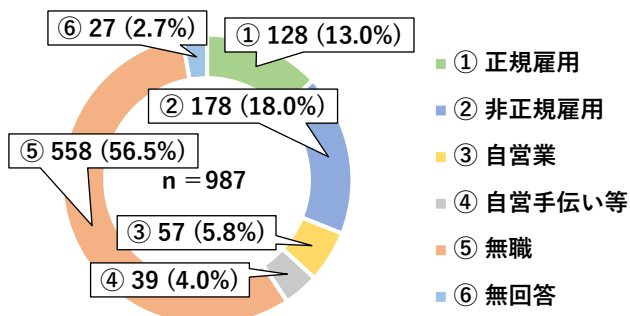
問1(2) ケアラーの年齢

* ケアラーの年齢は、「③ 30～64歳」が44.7%で最も多い一方、65歳以上の高齢者が占める割合は合わせて54.2%となっています。



問1(3) ケアラーの就労状況

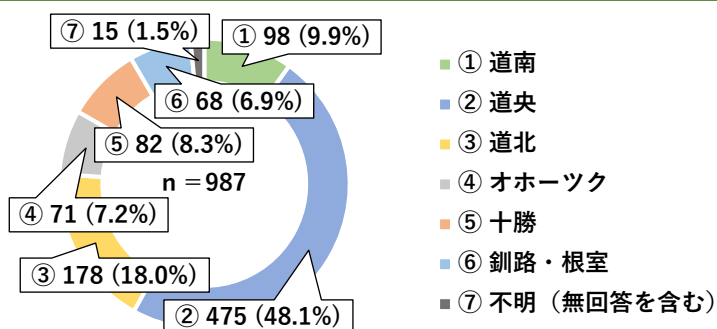
* ケアラーの就労状況は、「⑤ 無職」が56.5%で最も多く、「① 正規雇用」は13.0%となっています。



A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

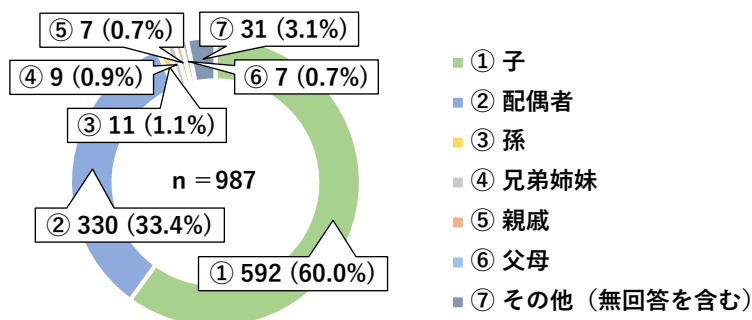
問1(4) ケアラーの居住地

* ケアラーの居住地は、「② 道央」が48.1%で最も多く、次いで「③ 道北」が18.0%となっています。



問2(5) 要ケア者の続柄

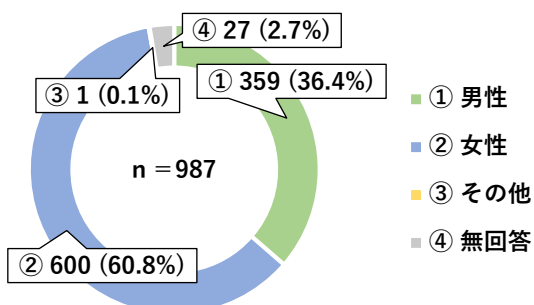
* 要ケア者*の続柄は、「① 子」が60.0%で最も多く、次いで「② 配偶者」が33.4%となっており、これらで全体の9割超を占めています。



※ 介護や援助を必要とする方

問2(6) 要ケア者の性別

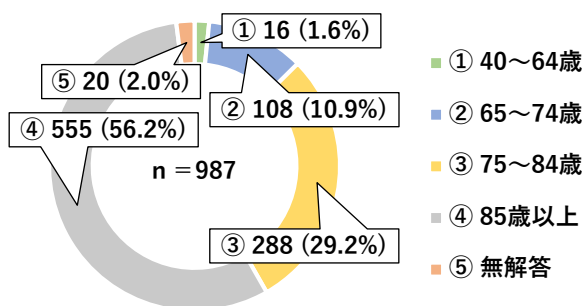
* 要ケア者の性別は、「② 女性」が60.8%となっており、「① 男性」の36.4%を大きく上回っています。



A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問2(7) 要ケア者の年齢

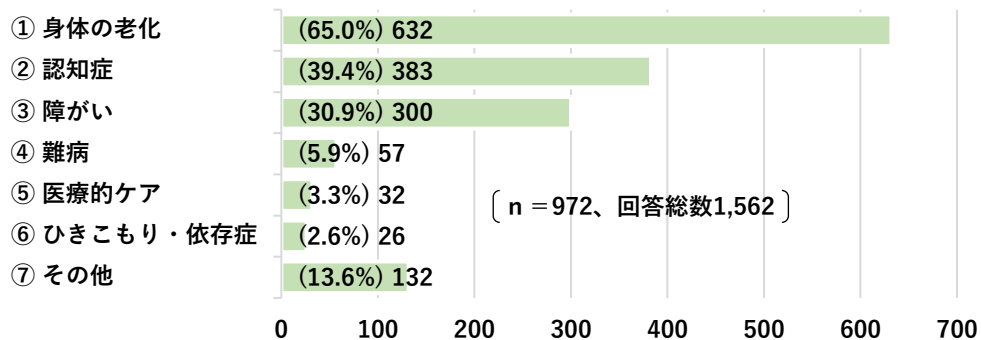
* 要ケア者の年齢は、「④ 85歳以上」が56.2%で最も多く、次いで「③ 75～84歳」が29.2%となっており、後期高齢者が占める割合は合わせて85.4%となっています。



問2(8) ケアが必要な理由

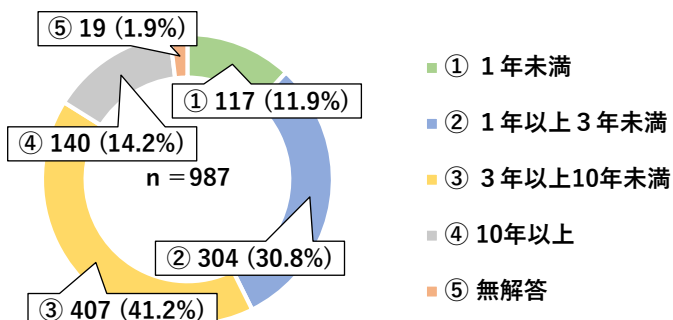
複数回答

* ケアが必要な理由は、「① 身体の老化」が65.0%で最も多く、次いで「② 認知症」が39.4%、「③ 障がい」が30.9%となっています。



問2(9) ケアの継続期間

* ケアの継続期間は、「③ 3年以上10年未満」が41.2%で最も多く、次いで「② 1年以上3年未満」が30.8%となっています。

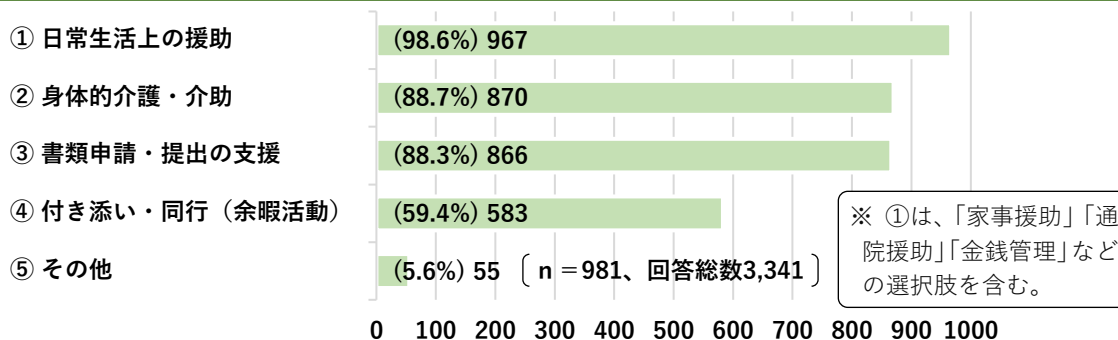


A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問2(10) ケアの内容

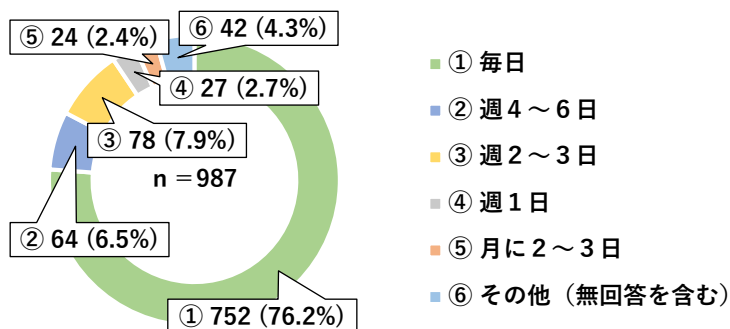
複数回答

* ケアの内容は、「① 日常生活上の援助」が98.6%で最も多く、次いで「② 身体的介護・介助」が88.7%、「③ 書類申請・提出の支援」が88.3%となっています。



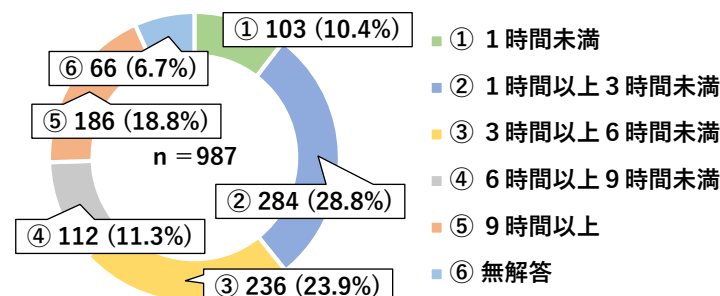
問2(11) ケアの頻度

* ケアの頻度は、「① 毎日」が76.2%で最も多く、次いで「③ 週2～3回」が7.9%となっています。



問2(12) ケアの最長時間

* ケアの最長時間は、「② 1時間以上3時間未満」が28.8%で最も多く、次いで「③ 3時間以上6時間未満」が23.9%となっています。

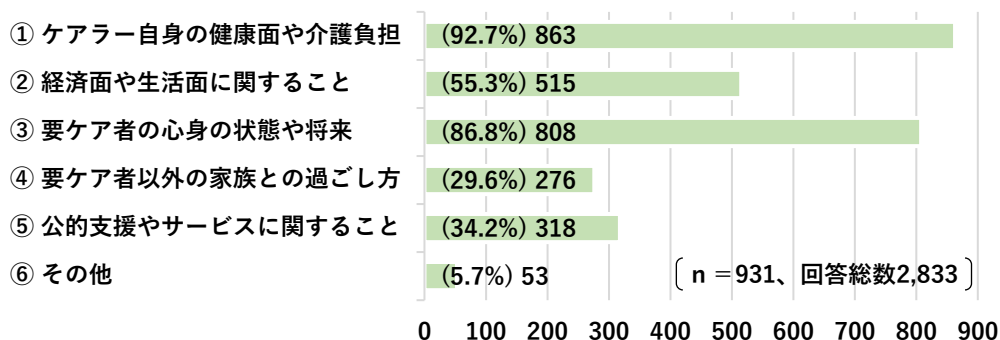


A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問2(13) ケアに関する悩み

複数回答

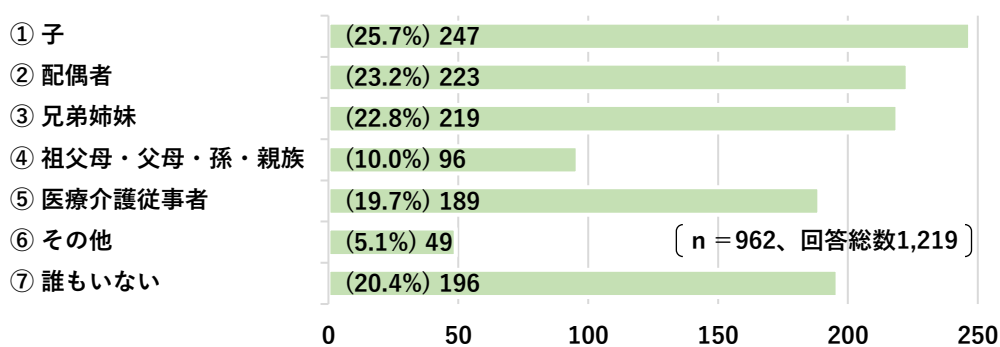
* ケアに関する悩みは、「① ケアラー自身の健康面や介護負担」が92.7%で最も多く、次いで「③ 要ケア者の心身の状態や将来」が86.8%となっています。



問2(14) ケアの代替者の有無

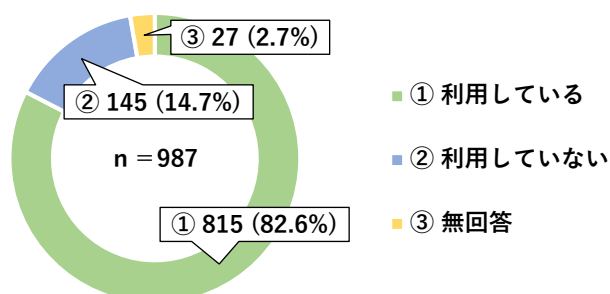
複数回答

* 緊急時等におけるケアの代替者の有無は、「① 子」が25.7%で最も多い一方、「⑦ 誰もいない」との回答も2割を超えています。



問3(15) 要ケア者のサービス利用状況

* 要ケア者のサービス利用状況は、「① 利用している」が82.6%で最も多く、「② 利用していない」との回答は1割台となっています。

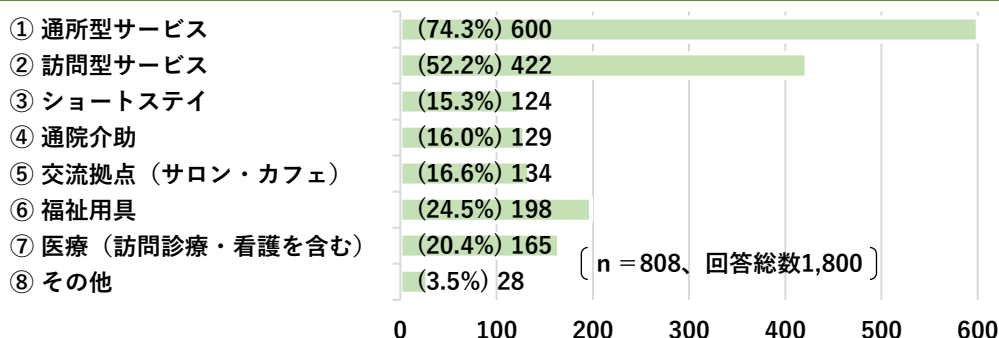


A-① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問3(16) 利用しているサービスの種別

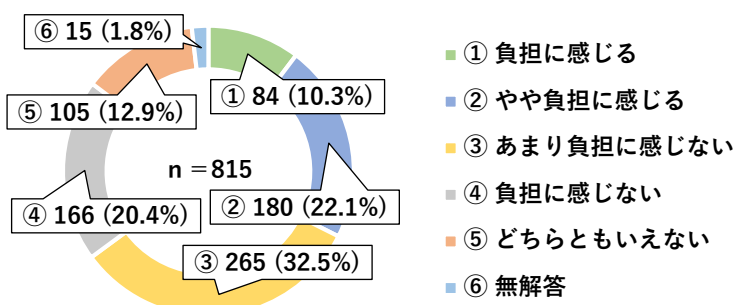
複数回答

* 要ケア者が利用しているサービスの種別は、「① 通所型サービス」が74.3%で最も多く、次いで「② 訪問型サービス」が52.2%となっています。



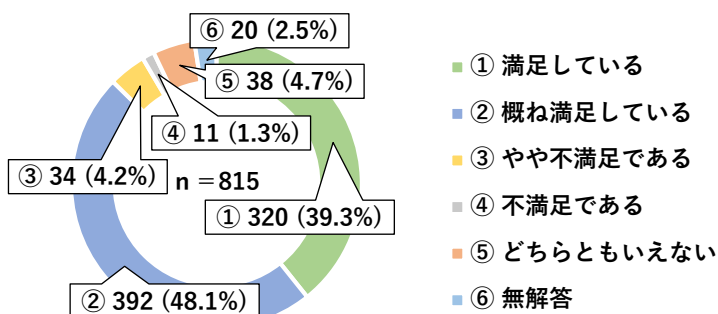
問3(17) 利用料の負担感

* サービス利用料の負担感は、「③ あまり負担に感じない」が32.5%で最も多く、次いで「④ やや負担に感じる」が22.1%となっています。



問3(18) 利用しているサービスの満足感

* 利用しているサービスの満足感は、「② 概ね満足している」が48.1%で最も多く、次いで「① 満足している」が39.3%となっています。

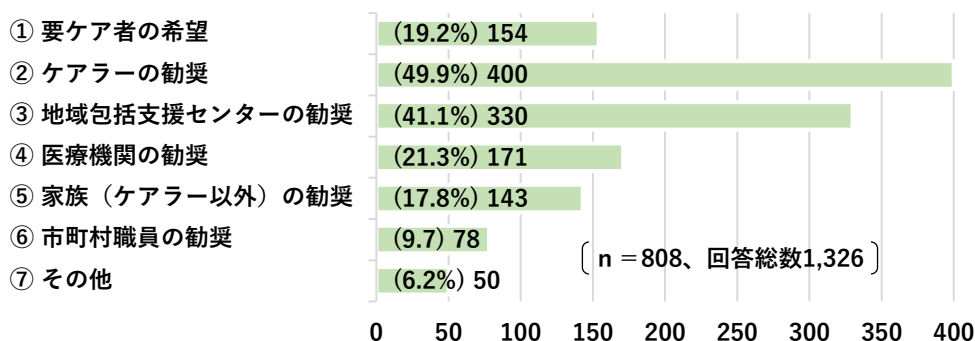


A-① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問3(19) サービス利用の契機

複数回答

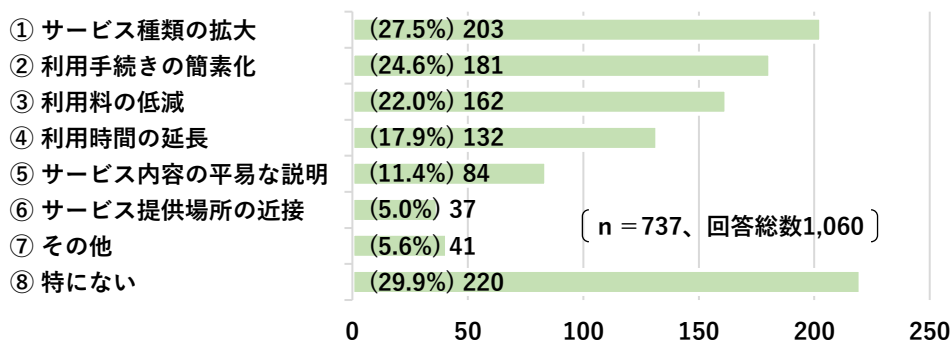
* サービス利用の契機は、「② ケアラーの勧奨」が49.9%で最も多く、次いで「③ 地域包括支援センターの勧奨」が41.1%となっています。



問3(20) サービス利用に必要な配慮

複数回答

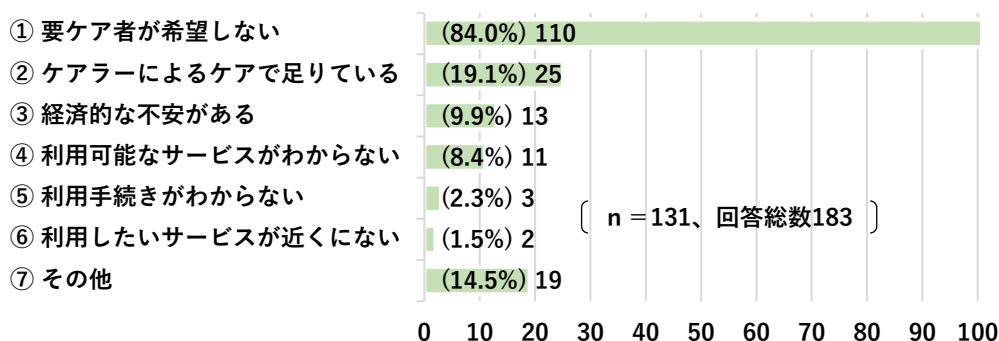
* サービス利用に必要な配慮は、「特にない」が29.9%で最も多く、次いで「① サービス種類の拡大」が27.5%となっています。



問3(21) サービスを利用していない理由

複数回答

* サービスを利用していない理由は、「要ケア者が希望しない」が84.0%で最も多く、次いで「② ケアラーによるケアで足りている」が19.1%となっています。

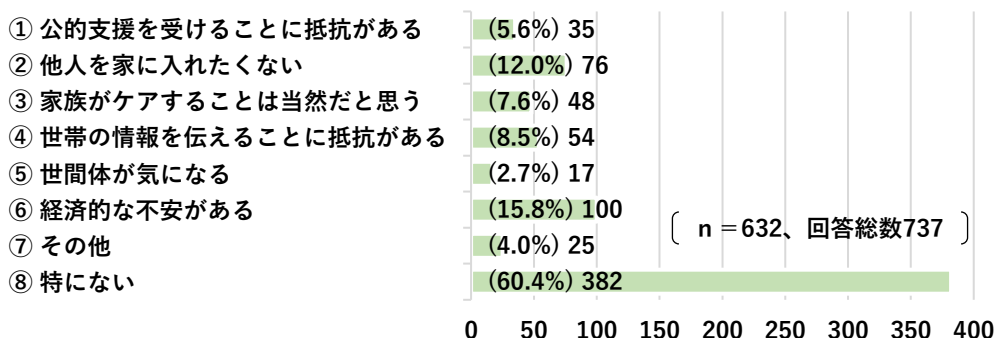


A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問3(22) サービス利用に関する抵抗感

複数回答

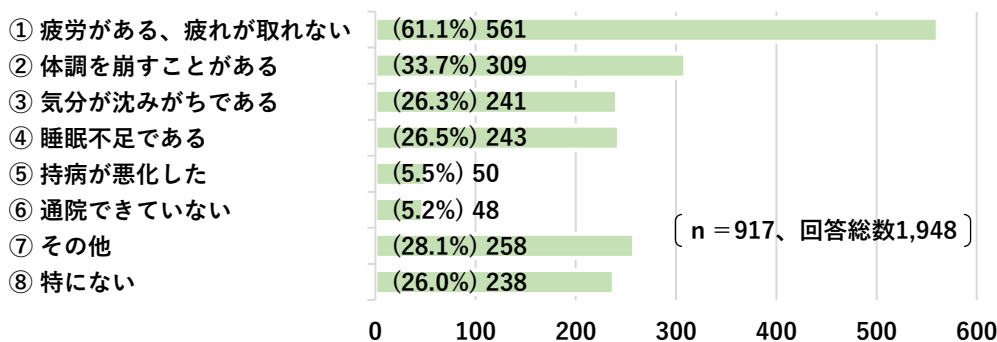
* サービス利用に関する抵抗感は、「⑧ 特にない」が60.4%で最も多く、次いで「⑥ 経済的な不安がある」が15.8%となっています。



問4(23) ケアをすることによる健康状態への影響

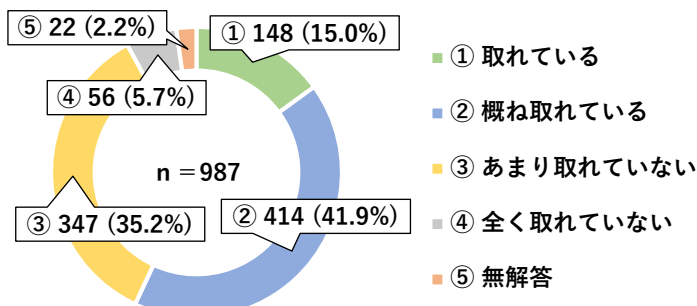
複数回答

* ケアをすることによる健康状態への影響は、「① 疲労がある、疲れが取れない」が61.1%で最も多く、次いで「② 体調を崩すことがある」が33.7%となっています。



問4(24) 趣味や休息等のための時間確保

* 趣味や休息等のための時間確保は、「② 概ね取れている」が41.9%で最も多く、次いで「③ あまり取れていない」が35.2%となっています。

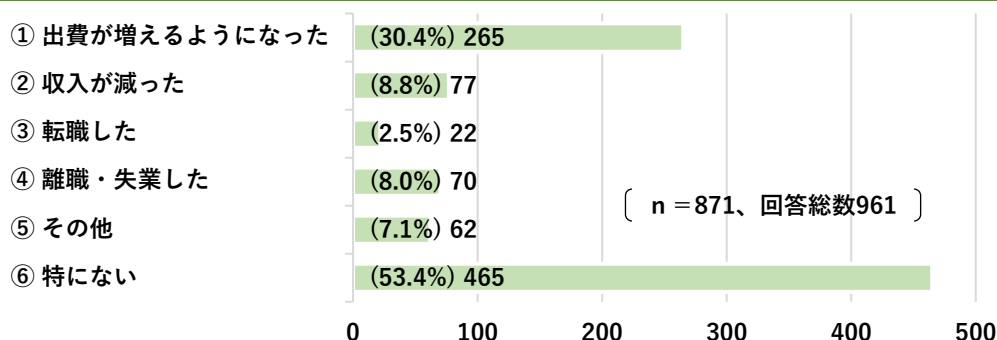


A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

問4(25) ケアをすることによる生活面への影響

複数回答

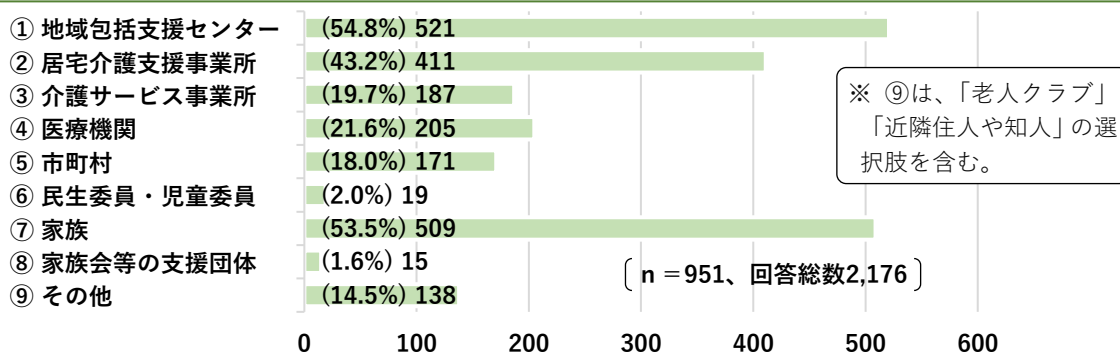
* ケアをすることによる生活面への影響は、「⑥ 特にない」が53.4%で最も多く、次いで「① 出費が増えるようになった」が30.4%となっています。



問4(26) 頼りにしている相談先

複数回答

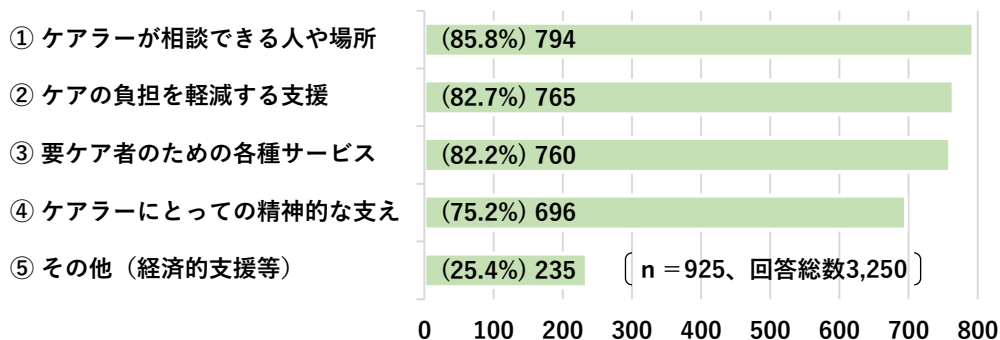
* 頼りにしている相談先は、「① 地域包括支援センター」が54.8%で最も多く、次いで「⑦ 家族」が53.5%となっています。



問4(27) ケアラーが求めている支援

複数回答

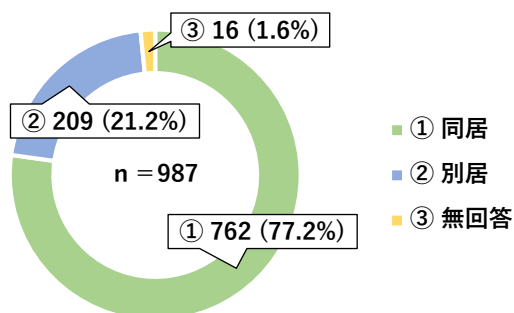
* ケアラーが求めている支援は、「① ケアラーが相談できる人や場所」が85.8%で最も多く、次いで「ケアの負担を軽減する支援」が82.7%となっています。



A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

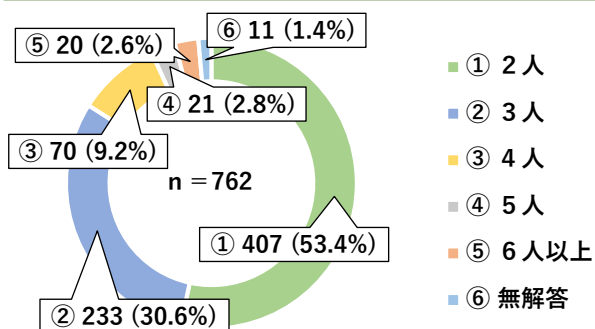
問5(28) 要ケア者との居住形態

* 要ケア者との居住形態は、「① 同居」が77.2%となっており、「② 別居」の21.2%を大きく上回っています。



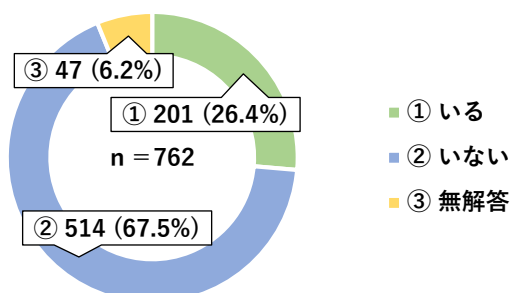
問5(29) ケアラーの世帯人員（要ケア者と同居している場合）

* 要ケア者と同居しているケアラーの世帯人員は、「① 2人」が53.4%で最も多く、次いで「② 3人」が30.6%となっています。



問5(30) 別の要ケア者の存否（要ケア者と同居している場合）

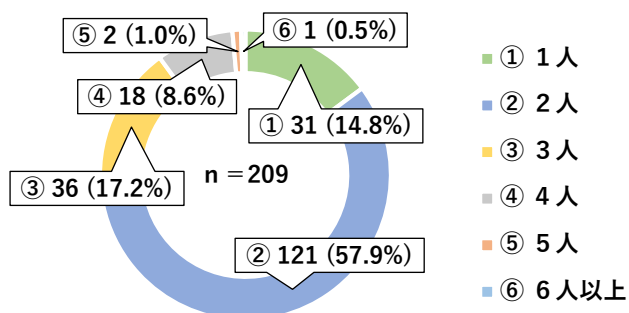
* 別の要ケア者の存否は、「② いない」が67.5%となっており、「① いる」の26.4%を大きく上回っています。



A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

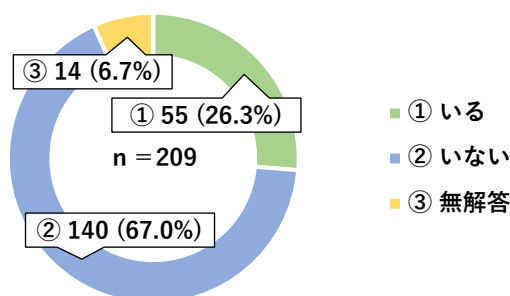
問5(31) ケアラーの世帯人員（要ケア者と別居している場合）

* 要ケア者と別居しているケアラーの世帯人員は、「② 2人」が57.9%で最も多く、次いで「③ 3人」が17.2%となっています。



問5(32) 別の要ケア者の存否（要ケア者と別居している場合）

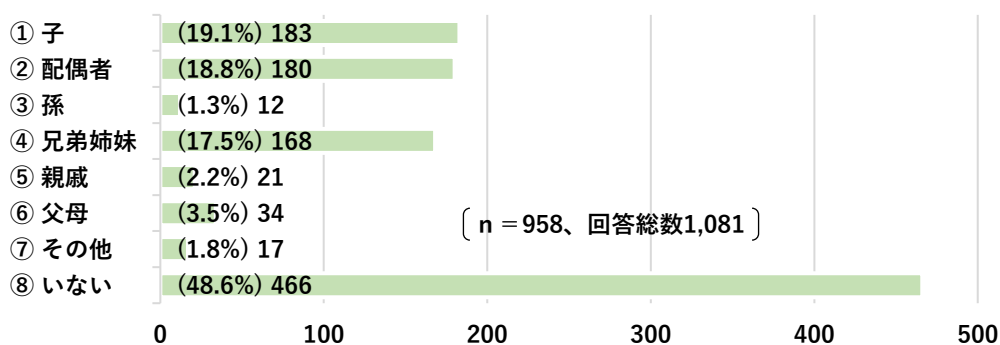
* 別の要ケア者の存否は、「② いない」が67.0%となっており、「① いる」の26.3%を大きく上回っています。



問5(33) 日常的なケアの分担者

複数回答

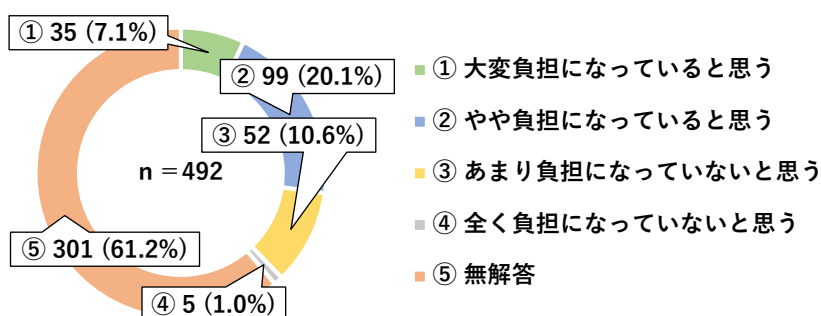
* 日常的なケアの分担者は、「⑧ いない」が48.6%で過半数を占めており、いる場合の続柄は、「① 子」が19.1%で最も多くなっています。



A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

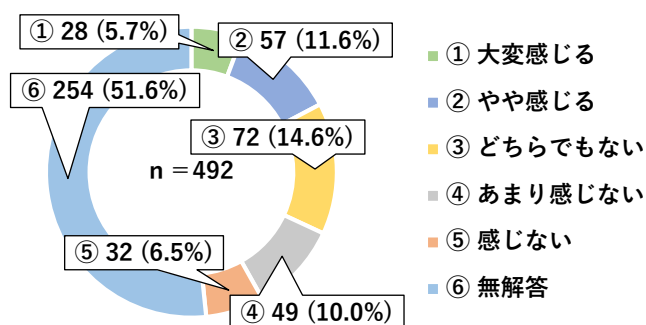
問5(34) ケアの分担者の負担感

* ケアの分担者の負担感は、無回答を除くと、「② やや負担になっていると思う」が20.1%で最も多くなっています。



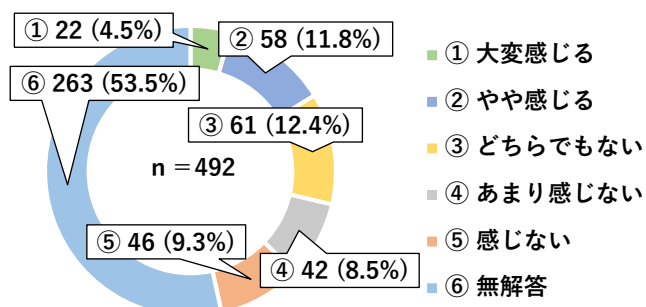
問5(35) 分担者の負担軽減に対する思い（方法 a：ケアラーの負担を増やす）

* ケアラー自身の負担を増やすことで分担者の負担を軽減したいとする思いは、無回答を除くと、「③ どちらでもない」が14.6%で最も多くなっています。



問5(35) 分担者の負担軽減に対する思い（方法 b：他の家族にも関わってもらおう）

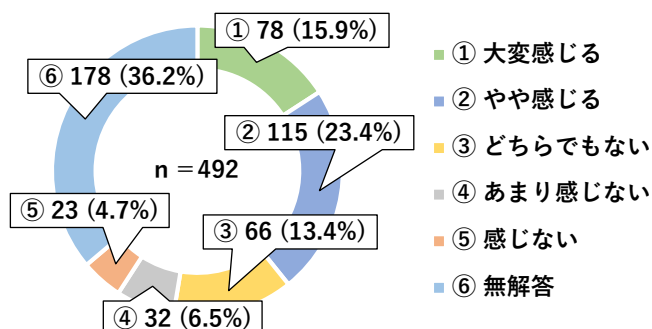
* 他の家族にも関わってもらおうことで分担者の負担を軽減したいとする思いは、無回答を除くと、「③ どちらでもない」が12.4%で最も多くなっています。



A - ① 高齢者を介護や援助しているケアラー

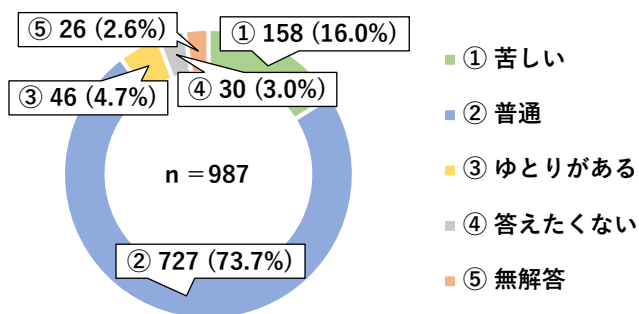
問5(35) 分担者の負担軽減に対する思い（方法c：公的支援やサービスを利用）

* 公的支援やサービスを利用することで分担者の負担を軽減したいとする思いは、無回答を除くと、「② やや感じる」が23.4%で最も多くなっています。



問5(36) 現在の暮らし向き（生活や家計の状況）

* 現在の暮らし向きは、「② 普通」が73.7%で最も多く、次いで「① 苦しい」が16.0%となっています。



問5(37) 今後の暮らし向きの見通し

* 今後の暮らし向きの見通しは、「② 今と変わらない」が36.8%で最も多く、次いで「① 今より苦しくなる」が31.8%となっています。

